

1月例会 新年祝賀会

41年目の新たなるスタート

—地域の夢 ここから発信—



1月23日、東京第一ホテル鶴岡にて、「2007年度(社)鶴岡青年会議所・新年祝賀会」が開催されました。当日はご来賓・賛助会員・OB会員・現役メンバー約120名が出席し、「2007年度 佐々木一広丸」の船出を祝うと共に、41年目の新たなスタートに決意を新たにしました。

私は、1月例会担当委員長という事で昨年の11月からこの日の為に準備をして参りましたが、11月という'07の体制が本格的に動き始める時期でもあり、'06の事務局をしながら上程資料を



作ったり委員会を立ち上げたりと非常に忙しく、11月から新年祝賀会当日まではあっという間に過ぎてしまいました。例会の方は無事何事もなく終わり今はホッとしております。



今回、例会を担当して特に難しいと思ったのは席次の配置でした。副理事長や室長と何度も何度も話し合いながら配置したわけですが、今になってみるとメンバーが後ろの方に片寄りすぎた配置になってしまい、歓談中メンバー同士で固まっている姿が多く見られました。

せっかく滅多に会えないご来賓やOB会員の皆様がお見えになっているので、もっと交流活動をして頂きたかったなあと感じます。今回の事を踏まえ次回のOB交流会ではこのような事がない様に進化させていきたいと考えております。

2次会の当初OB会員のご出席予定は4名でしたが、当日たくさんの方からご出席して頂き、最後までメンバーにお付き合いして頂きまして本当にありがとうございました。

最後にご来賓・賛助会員・OB会員の方々の接待にご協力頂いた副理事長の皆様、そして準備の為に手伝ってくれた委員会メンバー、当日手伝ってくれたLOMメンバーの皆さんありがとうございました。

交流委員会委員長 今 間 智 寛



社団法人
鶴岡青年会議所

第78回定時総会報告



去る1月23日、東京第一ホテル鶴岡におきましてLOMの最高審議機関である第78回定時総会「2007年度の新幕明け」が滞りなく開催されましたことを、この場をお借りしましてご報告申し上げます。

第一号議案の2006年度(社)鶴岡青年会議所 事業報告並びに収支決算(案)承認の件(監査報告含む)では、活発な意見や質問が飛び出し総会らしい光景を垣間見ることができました。採決では満場一致で可決され、菅原直前理事長並びに恩田副理事長はさぞホッとされたかと思えます。本当に一年間お疲れ様でした。

又、第二号議案の2007年度(社)鶴岡青年会議所 修正予算(案)承認の件も、満場一致で可決され、いよいよ佐々木丸が大きく舵をとり大海原へ出航してまいります。どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上簡単ですがご報告と致します。

会務セクレタリー会務理事 中 村 忠 之

2007年度 各委員会紹介

交流委員会

委員長 今 間 智 寛

交流委員会では、LOM内外の交流事業、そして1月例会・7月例会・12月例会を通して、会員交流・OB交流・他LOMとの交流の場を提供して行きます。1月例会新年祝賀会では、07年度(社)鶴岡青年会議所の新しい体制を、ご来賓・OB会員・賛助会員の方々より認知して頂き、親睦を深める場にしたいと考えております。また、7月例会会員大会では、出来るだけ多くのメンバーに参加して頂きブロック内での鶴岡JCをアピールしていきます。そして、12月例会では今年度16名という多くの卒業生がおりますので、その卒業生一人一人の想いがメンバーに届く卒業式にしたいと思っております。最後に1年間を通してメンバー同士友情の深まる事業展開をして行きますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

拡大委員会

委員長 佐 藤 正 廣

07年度がスタートし、拡大委員会の会員拡大活動も本格的に始動いたしております。ご存知のように全国的にメンバーの減少が問題視されている青年会議所の例に漏れず鶴岡JCも次世代を担う若手メンバーの確保が急務となっております。拡大委員会としても現状打破のために一年間、必達目標は勿論、継承できる会員拡大の礎を築くべく努力してまいります。結びになりますが、昨年の全国大会拡大セミナーからの予定段階からの会員拡大活動へのLOMメンバーの皆様のご助力に感謝するとともに拡大必達目標20名の達成の為に更なるご助力を引き続きお願いいたします。

研修委員会

委員長 草 島 孝 志

研修委員会では、「一人ひとりが夢を描ける、明るい豊かな未来」のために。」をテーマに、地域に根ざした多彩な研修を通じて、一人ひとりが「夢を描き」、明るい豊かな未来を創造できるような活動を展開していきたいと考えています。本格的な少子高齢化時代を向かえ、これからの日本は経済だけを優先するのではなく福祉や教育、環境問題など様々な課題を克服していかなければならないと指摘されています。子どもから大人・老人まで、より多くの方たちと共に夢を描けるよう、LOMメンバーだけでなく地域の皆様と切磋琢磨し、成長を確かめ合っていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

地域創造委員会

委員長 辻 村 利 則

「夢」今年度のテーマであり、佐々木理事長の思いを表す言葉です。当委員会では主に「まちづくり」の分野で鶴岡青年会議所だから出来る夢を描き、実現していきたいと思っております。具体的には日本JCとの協働運動の一つである公開討論会の開催、地域で起こりうる災害に対するボランティア及びネットワークの構築、広域連携の推進を含めた夕陽ラインシンポジウムの参加及び支援などです。各委員会もそうですが、理事長の熱い思いが多く詰まった委員会と伺っておりますので、恩田副理事長と佐藤担当常任理事のサポートを頂きながら一つ一つの事業を「創造」していきたいと思っております。一年間、どうぞ宜しくお願い致します。

青少年委員会

委員長 青 柳 康 一 郎

今年度、私達青少年委員会は5月例会のわんぱく相撲大会と、9月例会の室事業であるキャンプを担当します。わんぱく相撲では子供達と一緒に国技館で行われる全国大会を目指し頑張っていきたいと思っております。また、今年より例会となりましたので、メンバーの皆様にも実りあるものにしていきたいと思っております。キャンプは室事業として、災害時における対処法など様々な知識を子供達と一緒に楽しみながら習得出来る様な例会を計画していきたいと思っております。委員長、副委員長とも初理事であり、委員会メンバーも若いメンバーが揃っていますが、一つずつ勉強しながら、子供達と共に成長していきたいと思っております。一年間よろしく申し上げます。

赤川花火運営会議

総括幹事 佐 藤 正 晴

2007年度 赤川花火運営会議 総括幹事を仰せつかりました佐藤正晴です。当会議体の業務内容としましては、感動日本一の花火を打ち上げることを第一目標とし、2月例会では赤川花火の未来について考え、初夏の河川環境事業、全国花火サミットの運営協力といった内容となっております。第十七回赤川花火大会は、おそらく様々な意味で転換点をむかえる大会になるのではないかと考えます。その中には、おそらくすぐには答えのない問題も多々あるかと思っております。しかし、会議体メンバーはもとより、LOMメンバー全員がもっと赤川花火大会を好きになり、赤川花火大会について真剣に考えていけば、必ずクリアできるものと考えます。今までの伝統・歴史をふまえ、さらに進化した赤川花火大会を安全に開催されることを目指して頑張りますので、どうぞ一年間よろしく申し上げます。

公益法人化準備会議

総括幹事 渡 辺 孝 之

今日までのJC活動においては、社会のニーズに対応すべく様々な事業を行ってきました。この会議体では先輩たちが積み重ねてきた実績と、現在のJC活動における社会への貢献度と問題点等を検証し、新たな創造を生み出し、今後繋がる具体的な方策を見つけ提言したいと考えています。また、公益法人改革に伴い、当青年会議所も対応すべく確固たる組織づくりを進めて行かなければなりません。そのために、どのような選択肢、またどのような方向に進むべきなのかを模索し提案致します。LOMの夢の実現のため力の限りを尽くし努力致します。一年間どうぞ宜しくお願いいたします。

セクレタリーグループ

会務理事 中 村 忠 之

広報委員会

委員長 小 池 信 治

- 理事会より2月の予定 ●
- 2月8日(木) 第2回理事会
- 15日(木) 2月例会
- 22日(木) 第3回常任理事会

2007年度 役員紹介



専務理事
佐藤 康平

新たな時を刻む41年目の青年会議所活動が始まりました。私生活でも日々変化する周りの環境が私たちを取り巻いています。

さまざまな予想外の事件が身近に起き、答えの無い迷路に迷い込んだような日常がある気がしてなりません。そんな中でも私たちは、青年であることを前向きに考え、青年であることを力とし、ふるさとの大きなキャンパスに自分たち独自の夢や、思いを描こうとして

おります。一人のことではなく、みんなのことを考え行動することが自分の為になるのではないのでしょうか。

これからの豊かさを考え、これからの町づくりを考え、恒常的に新しいことを創造し、行動することの出来るハイコンセプトなLOM活動を行っていききたいと思います。



会員拡大研修室担当常任理事
佐藤 東一

拡大委員会は委員会テーマ「集え！若人！市民意識変革運動の先駆けたれ！」のもと、佐藤正廣委員長を中心に、8名のメンバーで構成されており、同じ志をもった若者を新入会員としてお迎えし、会員を拡大する委員会です。全国的に会員の減少傾向が問題となっております。そこで会員拡大委員会では20名の会員拡大を必達目標に掲げ委員会メンバー一丸となつてがんばっております。未来の鶴岡JCを担う若者を多数ご入会いただくためには皆様のご協力なくして達成できません。何卒よろしくお願い申し上げます。つぎに研修委員会は委員会テーマ「一人ひとりが夢を描ける、明るい豊かな“未来”のために」のもと、草島孝志委員長を中心に8名のメンバーで構成されております。3月と11月の例会を担当し、研修事業を通して自己の成長がLOMの質を向上させ、委員会テーマにもある「明るい豊かな“未来”のため」地域の発展に繋げることを目標としています。会員拡大研修室は個性あふれるメンバーが集まり、一人ひとりが優しく、相手を思いやり、助けあえる室です。どうぞ一年間よろしく申し上げます。

未来の鶴岡JCを担う若者を多数ご入会いただくためには皆様のご協力なくして達成できません。何卒よろしくお願い申し上げます。つぎに研修委員会は委員会テーマ「一人ひとりが夢を描ける、明るい豊かな“未来”のために」のもと、草島孝志委員長を中心に8名のメンバーで構成されております。3月と11月の例会を担当し、研修事業を通して自己の成長がLOMの質を向上させ、委員会テーマにもある「明るい豊かな“未来”のため」地域の発展に繋げることを目標としています。会員拡大研修室は個性あふれるメンバーが集まり、一人ひとりが優しく、相手を思いやり、助けあえる室です。どうぞ一年間よろしく申し上げます。



事務局長
板垣 一紀

2007年度の事務局は、LOMメンバー皆様と共に語り共に進む事務局で有りたいと考えます。理事会、総会の設営から運営まで諸会議の全てを受け持つ正確で確実な動きを必要とされます。皆様との連携無くして上記の事柄は達成出来ません。皆様の直ぐ隣に有る相談出来る事務局を目指し、LOMメンバーのサポーターとして活動して行きたいと思いません。1年間宜しく御願致します。



情報交流支援室担当常任理事
菅原 豪雄

情報交流支援室は、交流委員会と広報委員会の二つの委員会がございます。両委員会共に、1月から、いや、11月から全開で頑張っております。交流委員会は、1月、7月、12月と一年間を通して、3回の例会を担当します。皆様、ご出席のご協力を何卒お願い致します。広報委員会は、10月例会担当でもございますが、毎月の年間12回、本JCニュースの発行とホームページの更新を担当しておりますので、ご愛顧の程、また、ご意見もよろしくお願い致します。一年間「自ら進んで行動しよう！」をテーマに、情報交流支援室全体一致団結で、鶴岡JCを盛り上げたいと思いません！！



地域政策創造室担当常任理事
佐藤 智信

地域政策創造室は青少年委員会と地域創造委員会の2委員会からなる室で文字通り我々の住む地域の未来を創造する事を任務とした室です。JC手帳を開くと最初に記載されているJC宣言ならびに綱領の所には「個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために」という文章と「青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築きあげよう」という文章があります。当に我々の室の任務はJCの行うべき目的その物なのです。鶴岡青年会議所メンバーとして行う事業には大変な責務を感じますが、未来を明るくするには楽しむ事も必要と考えます。1年間を通して地域に笑顔があふれる様な活動をし、夢の持てる地域創造の手助けが出来る様に頑張りますのでよろしく御願致します。

京都会議報告

会務セクレタリー
上鉢 功一

OMOIYARIの心あふれる「日本の力」発信！～市民意識の改革から実現する理想国家日本の創造を目指して～を開催テーマのもと京都会議が盛大に開催されました。1月20日、「市民意識改革セミナー」、「協働運動・連携推進運動セミナー」を見学、昨年のLOMの例会でも行われた、近現代史教育実践委員会「誇り～伝えようこの日本のあゆみ～」を見学し、改めて先の大戦の歴史認識が変わりました。また、「メインフォーラム」では、(株)独立総合研究所 代表取締役社長の青山繁晴氏を迎え、今、映画で話題になっている「硫黄島の真の戦い」を中心に、拉致問題を含め防衛、領土、領海など日本の主権が侵害されている事実を踏まえ、国家として、国民として、我々JAYCEEが率先して今何を必要

国法人 日本青年会議所 2007年度 京都会議

OMOIYARIの心あふれる「日本の力」発信！

毛原良一氏から発信する「理想国家日本の創造を目指して」



があるのか学びました。

新年式典では、今年度日本青年会議所・奥原祥司会頭より2007年度の青年会議所の方針が力強く各メンバーに伝えられ大変感動的な式典となりました。

2月例会のご案内

これまでの赤川花火大会は(社)鶴岡青年会議所メンバーが中心となり、ボランティア活動の一環として運営に携わって参りました。その年ごとに変化に富んだ趣向で、大勢の観客の皆様から毎年感動していただける大会に成長してまいりました。そして現在、成熟期ともいえる状況にあるこの大会を今一度、鶴岡JCメンバーで見直し、今後の大会発展に繋げるべく検討・協議することが必要なのではないかと考え、二月例会『このままでいいのか！赤川花火』を開催いたします。日時は2月15日(木)午後7時より、場所は鶴岡地域職業訓練センターにて行います。鶴岡JCメンバー一人一人が赤川花火大会の今後について真剣に考えると同時に(社)鶴岡青年会議所としての今後のあり方、活動方針も協議していきたく考えますので皆様からのご参加を心よりお願い申し上げます。

赤川花火運営会議総括幹事 佐藤 正晴

釣道

～鶴岡の釣り文化～

【 式ノ章 : シノゴデ釣り 】

「釣りは小物に始まり小物で終わる」という言葉がある。

私も幼少の頃、父に連れられ加茂や今泉の港で「シノゴデ釣り」を楽しんだものだ。現在は大物クロデを狙い北へ南へ奔走しているが、いずれ老いてくれば我が父の様に再び「シノゴデ釣り」をたしなみながら心静かに晩年を迎えるのであろう。

本章では「シノゴデ釣り」を少し紹介しよう。

「シノゴデ釣り」は初秋の候、内湾の静かな海で椅子に腰をかけ、3寸～4寸くらいのクロダイの幼少魚を僅か9尺ほどの細い短竿に極小の針を付け小手先で釣る。子供や初心者でも釣れるが数を釣るには経験と技術が必要でベテランともなると半日で百を超える釣果をあげることもある。

しかし全国各地どの地方でも当歳魚のクロダイを釣る習慣は何処にも存在せず、同時に出産を控えた春のクロデを釣らないのが庄内地方独自の釣り文化でもある。他所の釣人曰く、「そんな小さなクロダイを釣っては可哀想」だの「大きくなる前に何百匹も釣ったんじゃクロダイがいなくなってしまう」とかいうが、我々庄内釣士は皆「お腹に卵を沢山身籠った春のクロデを釣るほうがもっと可哀想だし、乱獲につながる」と論ずるであろう。釣りをせぬ者にとってはどちらも愚論であろうが…。いずれにせよ、互いに漁獲保護を考慮しながら未永く釣りを楽しみたいものだ。

釣ったシノゴデは食してもなかなか美味である。先ず頭から背開きにシウロコはとらず困炉裏でサッと炙った後、天日に干して乾燥させ空き缶などで密閉保存にする。その後、来客の度に空揚げにし、甘辛い砂糖醤油に潜せば出来上がり。小さくても鯛は鯛、立派な御馳走である。

…厳冬、熱燗の肴に喜ばれる逸品になる。
筆 おがいし

鶴岡の祭り・イベント

- 2月1日(木)・2日(金) 春日大社王祇祭・黒川能 (黒川 春日神社)
- 2月4日(日) しゃりん寒鱈まつり(道の駅あつみ「しゃりん」)
- 2月10日(土) 大山新酒酒蔵まつり(大山酒蔵)
- 2月17日(土) たらなきだいスキー場まつり (たらなきだいスキー場)
- 2月18日(日) 雪とびあ (湯殿山スキー場)
- 2月20日(火) 鶴岡音楽祭 (鶴岡市文化会館)
- 2月24日(土) 黒川能・蠟燭能 (春日神社)
- 2月27日(火) 金峯山雪灯籠祭 (金峯山中の宮)
- 3月1日(木)～4月3日(火) 鶴岡雛めぐり・鶴岡雛物語
- 3月1日(木)～3月31日(土) 雛体験 (陶芸・絵ろうそく・お雛菓子づくり)
- 3月1日～4月上旬 湯のまち人形めぐり (温海温泉)
- 3月17日(土) 安丹神楽 (安丹公民館)
- 3月23日(金) 春日神社祈年祭 (黒川能)
- 3月下旬～4月上旬の日曜日湯田川温泉「梅まつり」

庄内映画村 情報

「SUKIYAKI WESTERN DJANGO」のロケでは、大勢の地元「庄内」の方々エキストラ、ボランティアとして活躍していただきました。「DJANGO」の庄内ロケは既に終了いたしました。今年も5本の映画のロケが決定し、初春から撮影が始まる予定です。それに伴い、当社ではエキストラ、ボランティアとして映画制作と一緒に盛り上げていただける方を随時募集いたしております。年齢や性別、経験は一切問いません。映画に興味のある方、庄内への映画誘致を応援したいと思われる方、是非お力をお貸し下さい。 ▶庄内映画村 <http://www.s-eigamura.jp/>

◆◆◆ 会員募集要項 ◆◆◆

募集対象者／鶴岡市、三川町に居住、または勤務している20歳から40歳の青年会議所運動の精神に賛同し、「明るい豊かな社会作り」を志す青年とします。
応募条件／(社)鶴岡青年会議所正会員2名の推薦を必要とします。

入会時期／2007年4月より

※詳しくは、事務局(0235-24-0377)か正会員まで。詳しい募集要項や説明会の日程は別途ご連絡致します。

編集後記

最初に今年度1月号の広報誌が発送の手違いにより大変遅くなりましたことお詫び申し上げます。

新年祝賀会も終わり、皆さんの体もようやくアルコールが抜けてきた時期ではないでしょうか。今年は異常気象が続いています。皆さんお体には充分お気をつけ下さい。

さて今回掲載させていただいた役員紹介ですが、総ての役員を掲載しきれませんでした。残りの方は次回ご紹介させていただきますので楽しみに！

(hiro)

赤川花火トピックス

赤川花火運営委員議長 野口 義明

昨年末に第1回実行委員会を終え、新しい組織体制が確立した第十七回赤川花火大会実行委員会も新年を迎え、今後いよいよ活動が本格化してまいります。具体的に申し上げますと、1月19日(金)に第1回推進会議、1月24日(水)に第2回推進会議と検討を積み重ねた上で、第1回執行部会議を1月30日(火)に行う予定としております。そして、2月に入りますと、いよいよ各部会による検討・協議がスタートし、花火大会の骨組みが少しずつできあがってきます。実行委員会メンバーの皆様から積極的に各部会に参加していただいて、『花火大会を創り上げる』という『今しか』『ここでしか』味わえない、他では絶対得ることのできない充実感を味わっていただけるよう共に頑張っていきたいと思っております。また、花火事務局も新たな事務員さんを迎え、心機一転して日々の活動に励んでおりますのでぜひお立ち寄りください。よろしくお願いたします。

発行：2007年度 社団法人鶴岡青年会議所
〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5
TEL 0235-24-0377 FAX 0235-22-5090

発行責任者：佐々木 一 広
制作責任者：広報委員会委員長 小池 信 治
発行日：平成19年2月4日
ホームページ <http://www.tsuruoka-jc.info>